

2019年12月期 第1四半期 決算説明資料

2019年5月13日

ユニ・チャーム株式会社

代表取締役 社長執行役員

高原 豪久

本資料には、現在入手している将来に関する、見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

2019年12月期 第1四半期 決算概要

◆資料内の表記

BC: ベビーケア事業

FC: フェミニンケア事業

HC: ヘルスケア事業

C&F: クリーン&フレッシュ事業

PC: ペットケア事業

● 連結業績

- ✓ 売上高1,686億円(4.8%増収)、コア営業利益201億円(18.7%減益)。
- ✓ コア営業利益率(COPM) 15.4%⇒11.9%。
- ✓ 連結業績予想に対する進捗は計画どおり(売上高進捗率23.1%、COPM進捗率20.1%)。

● 日本業績(10.3%減収、45.9%減益)

- ✓ HC、PCが増収も、他事業が中国向けの越境ECの在庫調整や転売業者の減少等により減収。
- ✓ 原材料費や物流費の高騰と九州工場の稼働、越境EC鈍化による稼働率悪化等により減益。
- ✓ 4月以降、新商品の投入や越境ECの在庫調整が進み改善を見込む。

● 海外業績(14.4%増収、9.9%増益)

- ✓ アジア・・・14.7%増収、6.9%増益。コア営業利益率13.6%。
- ✓ 前年のM&Aと為替の影響を除くと、売上高は実質で約10%超の増収。好調を継続。
- ✓ 主要国(中国、インドネシア、タイ、ベトナム、インド、中東)が好調を継続し増収を牽引。
- ✓ 中国FCは好調を継続、現地の中国BCの業績は底を打ち、アジアの増益を牽引。
- ✓ インド・・・BC、FCともに、高成長を持続し市場シェアが拡大。黒字化の定着。

● 株主還元

- ✓ 配当金・・・年間配当金は4円増配の28円を予定。18期連続増配を計画。
- ✓ 自己株式取得・・・150億円、500万株上限に対し、4月末現在 約117億円、約327万株取得。

4.8%増収、18.7%減益

連結業績予想に対し、売上高、コア営業利益ともに計画どおり



■ 連結決算ハイライト

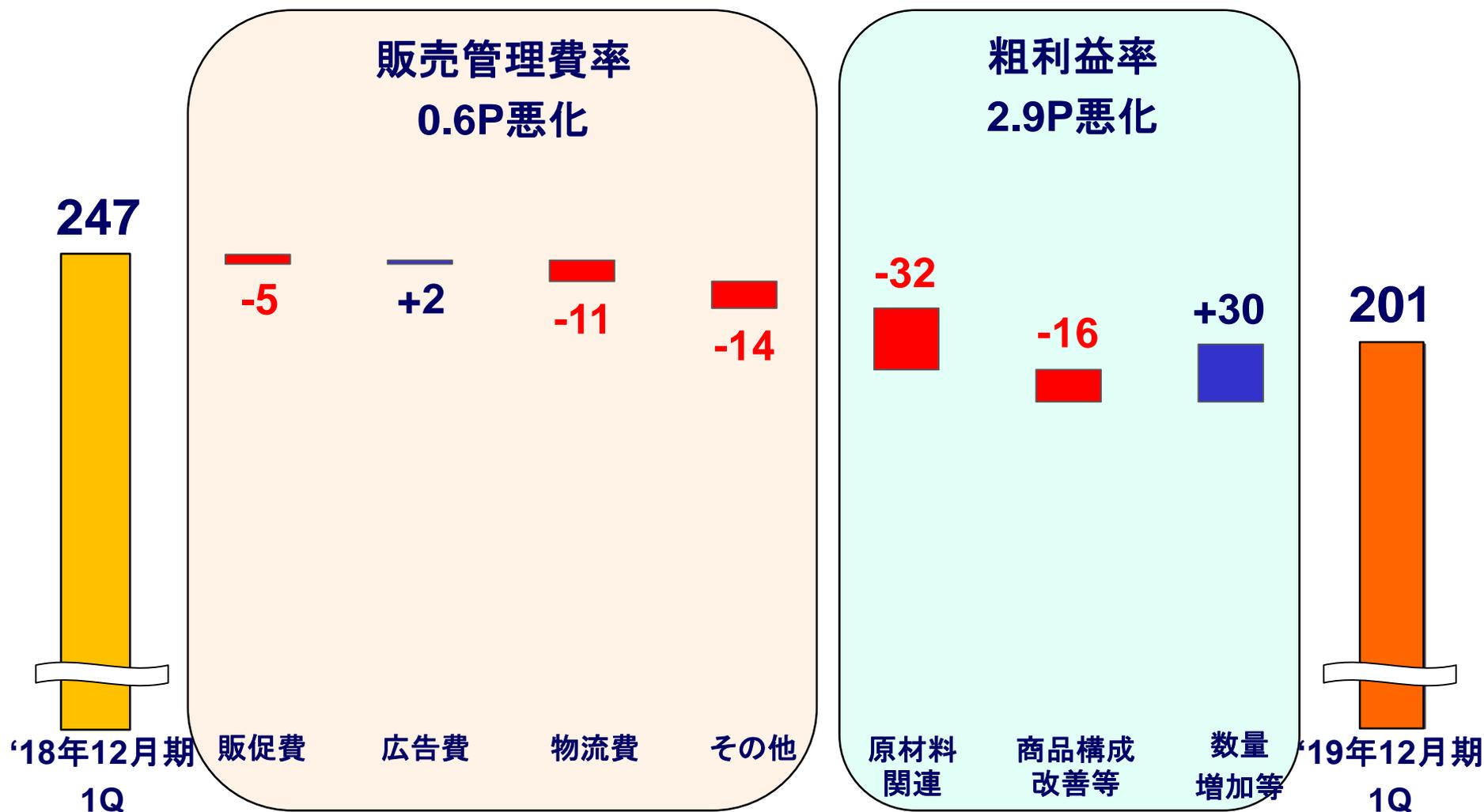
(百万円)

	'18/12月期 1Q	'19/12月期 1Q	増減額	増減率	(業績予想) '19/12月期	進捗率
売上高	160,936	168,611	+7,675	+4.8%	730,000	23.1%
コア営業利益 (利益率)	24,731 (15.4%)	20,099 (11.9%)	-4,632	-18.7% (-3.5P)	100,000 (13.7%)	20.1%
税引前四半期利益 (利益率)	21,824 (13.6%)	20,939 (12.4%)	-885	-4.1% (-1.2P)	96,500 (13.2%)	21.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (利益率)	14,178 (8.8%)	12,701 (7.5%)	-1,477	-10.4% (-1.3P)	63,500 (8.7%)	20.0%
基本的1株当たり四半期利益(円)	24.21	21.30	-2.91	-12.0%	106.70	—
USDレート(円)	108.30	110.20	+1.9	+1.8%	109.50	—
中国元レート(円)	17.05	16.33	-0.72	-4.2%	15.90	—

アジアでの積極的なマーケティング投資による増収効果はあったが、想定した越境EC市場で在庫調整等の影響もあり、原材料価格の上昇等を吸収できず46億円の減益

■ コア営業利益増減

(億円)



アジアでは中国が増収増益を牽引、インド高成長、黒字定着。
日本はHC、PC好調も、BCの越境ECが前年の高成長から在庫
調整による鈍化。その他は中東、ブラジル、米国が好調



■ 所在地別セグメント情報

(百万円)

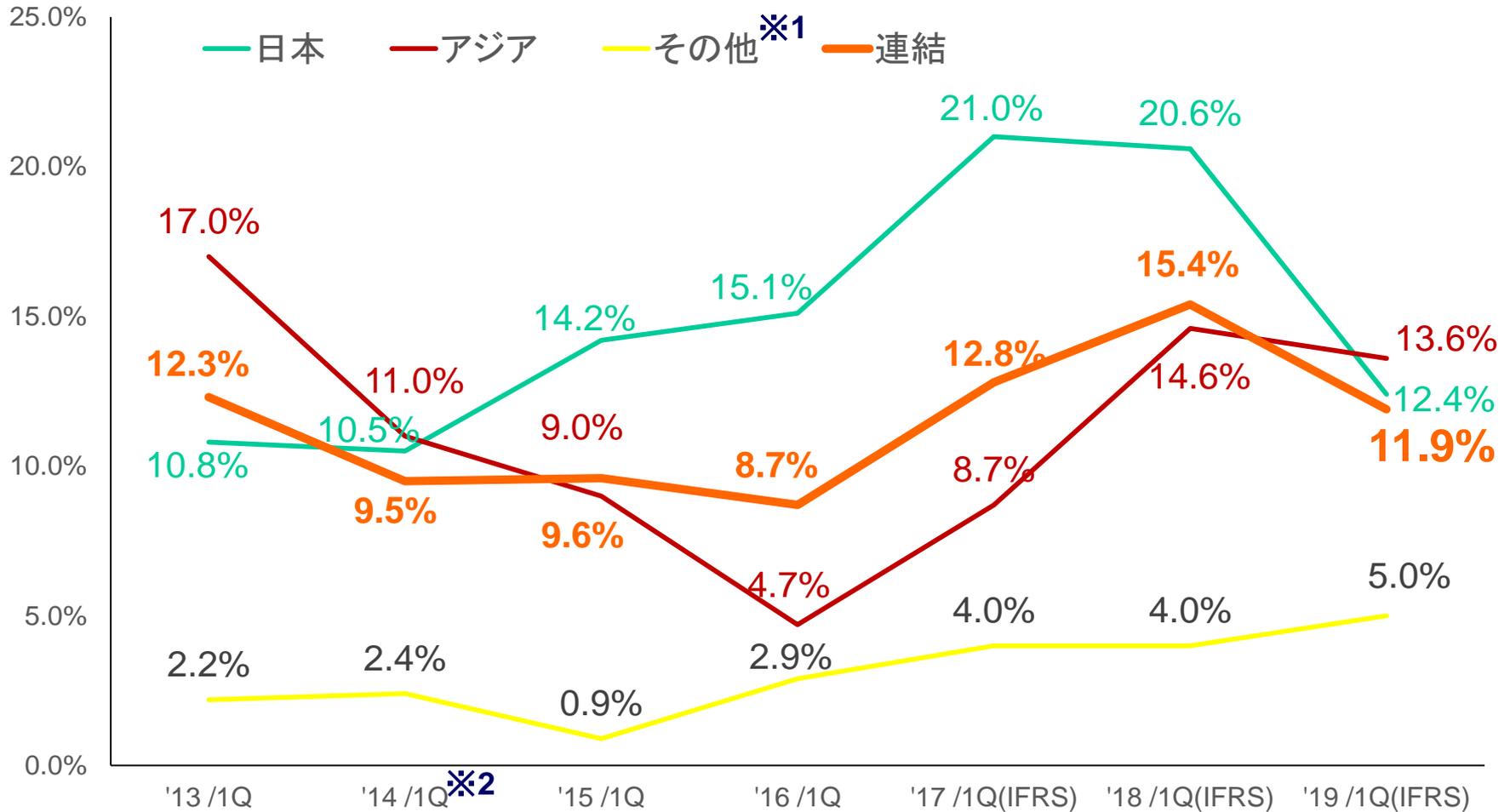
		'18/12月期 1Q	'19/12月期 1Q	増減額	増減率	(参考) 実質 増減率 ^{※1}
日本	売上高	62,872	56,379	-6,493	-10.3%	—
	コア営業利益	12,921	6,992	-5,929	-45.9%	—
	(利益率)	(20.6%)	(12.4%)	(-8.2P)		—
アジア	売上高	73,400	84,209	+10,809	+14.7%	+18.4%
	コア営業利益	10,706	11,448	+742	+6.9%	+9.9%
	(利益率)	(14.6%)	(13.6%)	(-1.0P)		—
その他 ^{※2}	売上高	24,663	28,024	+3,361	+13.6%	+14.8%
	コア営業利益	994	1,409	+415	+41.8%	+32.6%
	(利益率)	(4.0%)	(5.0%)	(+1.0P)		—
調整額等	売上高	—	—	—	—	—
	コア営業利益	110	250	+140	+127.3%	—
	(利益率)	—	—	—	—	—
連結	売上高	160,936	168,611	+7,675	+4.8%	+6.7%
	コア営業利益	24,731	20,099	-4,632	-18.7%	-17.8%
	(利益率)	(15.4%)	(11.9%)	(-3.5P)		—

※1:実質増減率は為替変動を除く増減率。

※2:その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

全地域において原材料価格の高騰が影響。日本では、マーケティング費用の積極的な投下や越境ECの鈍化、九州工場の稼働等が影響。その他は米国で収益性改善

■ 所在地別 コア営業利益率(営業利益率)



※1: その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

※2: 決算期変更により変則的な決算期間。

パーソナルケアは海外好調のなか、原材料の高騰や越境ECの鈍化等の影響で増収減益
PCは順調に拡大、北米では収益性改善が進む



■ 事業別セグメント情報

(百万円)

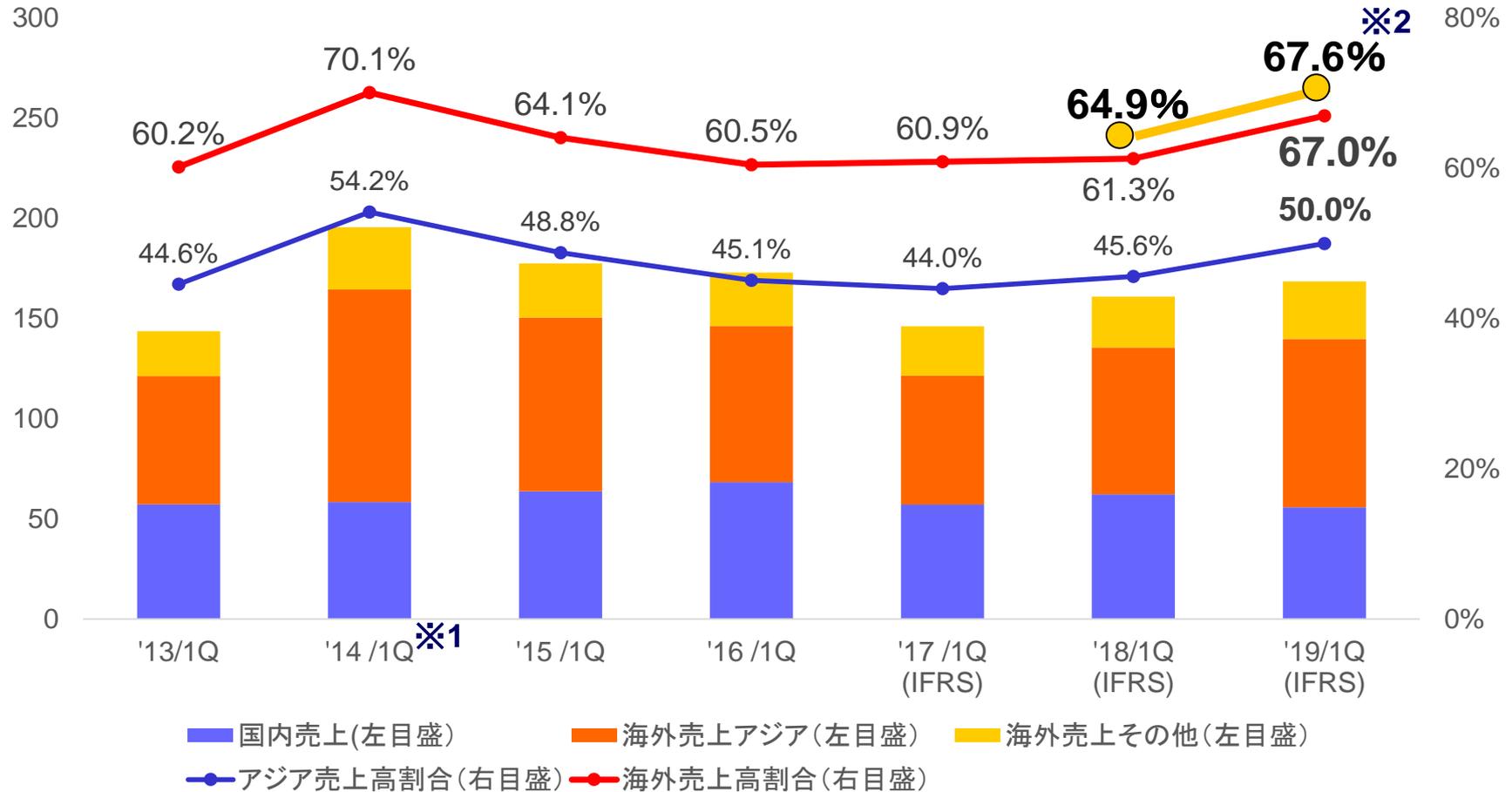
		'18/12月期 1Q	'19/12月期 1Q	増減額	増減率
パーソナルケア	売上高	141,223	148,468	+7,245	+5.1%
	コア営業利益	22,856	18,125	-4,731	-20.7%
	(利益率)	(16.2%)	(12.2%)		(-4.0P)
ペットケア	売上高	18,039	18,676	+637	+3.5%
	コア営業利益	1,906	1,983	+77	+4.0%
	(利益率)	(10.6%)	(10.6%)		(±0.0P)
その他 ^{※1}	売上高	1,680	1,473	-207	-12.3%
	コア営業利益	-32	-9	+22	—
	(利益率)	—	—		—
調整額等	売上高	-6	-7	-1	—
	コア営業利益	—	—	—	—
	(利益率)	—	—	—	—
連結	売上高	160,936	168,611	+7,675	+4.8%
	コア営業利益	24,731	20,099	-4,632	-18.7%
	(利益率)	(15.4%)	(11.9%)		(-3.5P)

※1:その他は産業用資材関連商品等、育児動画配信サービス。

海外売上高構成比は67.0% (為替影響を除くと67.6%)

国内・海外売上高推移

(十億円)



※1: 決算期変更により変則的な決算期間。

※2: 日本からの越境EC等の輸出を海外売上高とした場合。

為替変動の影響額は 売上高 約30億円減、コア営業利益 約2億円減

■ 通貨別変動推移

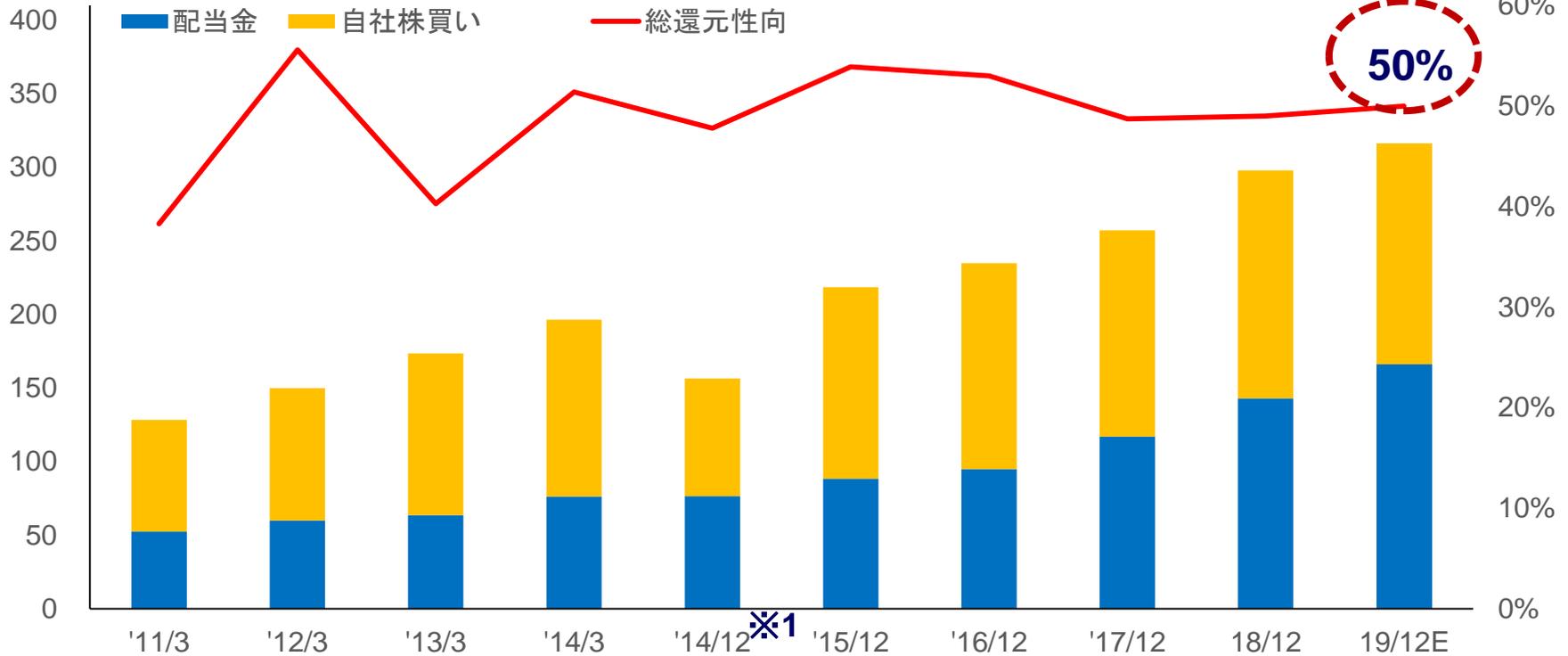
通貨	'18/12期1Qレート	'19/12期1Qレート	増減率
中国(CNY)	17.05	16.33	-4.2%
インドネシア(IDR)	0.0080	0.0078	-2.5%
タイ(THB)	3.44	3.49	+1.5%
インド(INR)	1.70	1.57	-7.6%
サウジアラビア(SAR)	28.92	29.41	+1.7%
ベトナム(VND)	0.0048	0.0047	-2.1%
米国(USD)	108.30	110.20	+1.8%
オランダ(EUR)	133.22	125.15	-6.1%
台湾(TWD)	3.71	3.58	-3.5%
韓国(KRW)	0.1011	0.0980	-3.1%
オーストラリア(AUD)	85.27	78.54	-7.9%
マレーシア(MYR)	27.63	26.94	-2.5%
ブラジル(BRL)	33.37	29.25	-12.3%
エジプト(EGP)	6.13	6.26	+2.1%
ロシア(RUB)	1.91	1.68	-12.0%

株主還元政策

業績に連動した配当金と自己株式の取得により 2019年度も総還元性向50%を目標

株主還元政策

(億円)

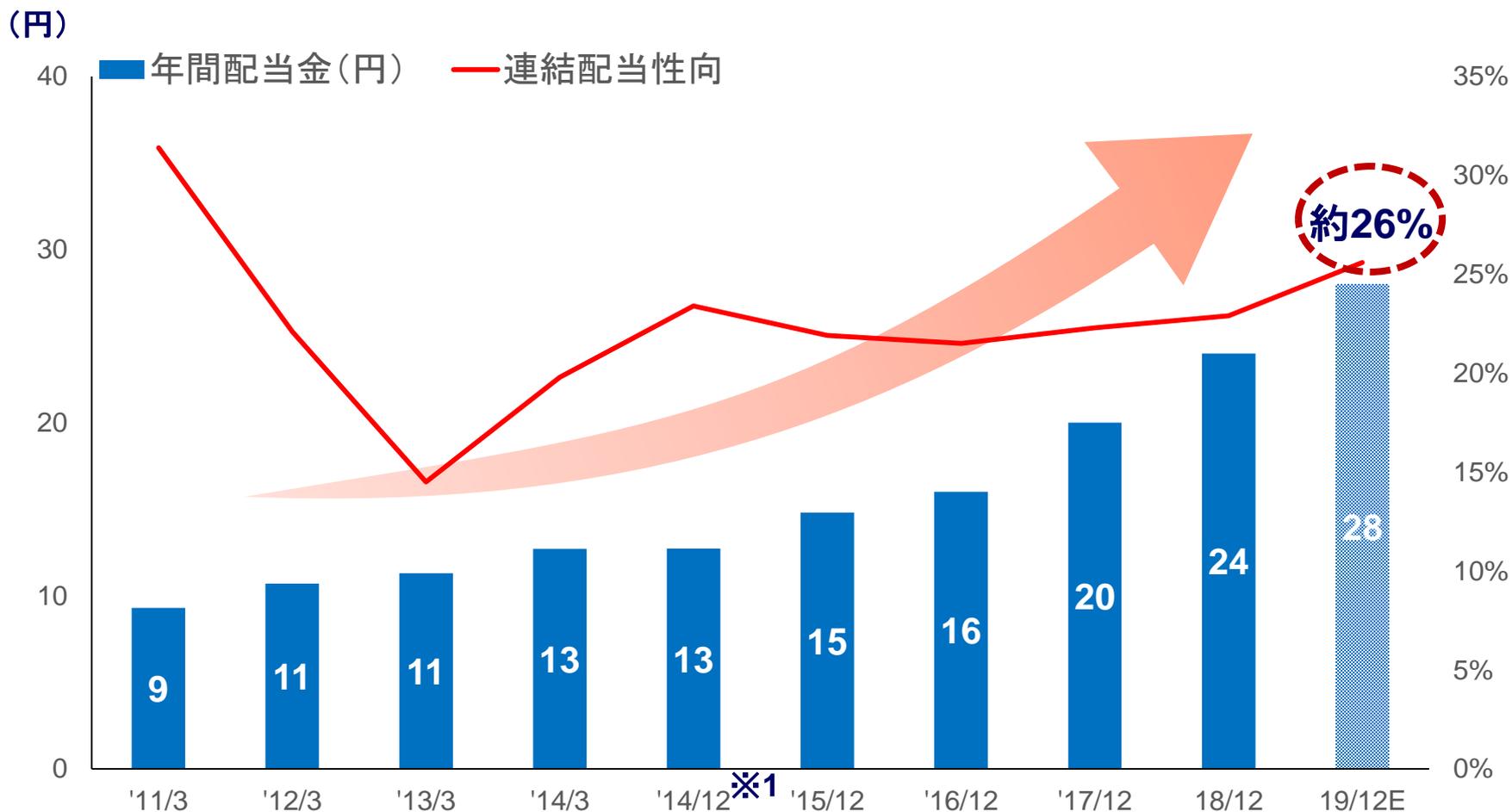


※1: 会計年度9ヶ月の変則決算。

継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**に利益還元を図っております。

安定的かつ継続的な増配を実施し、18期連続増配を計画 配当性向も上昇

■ 1株当たり配当金の推移

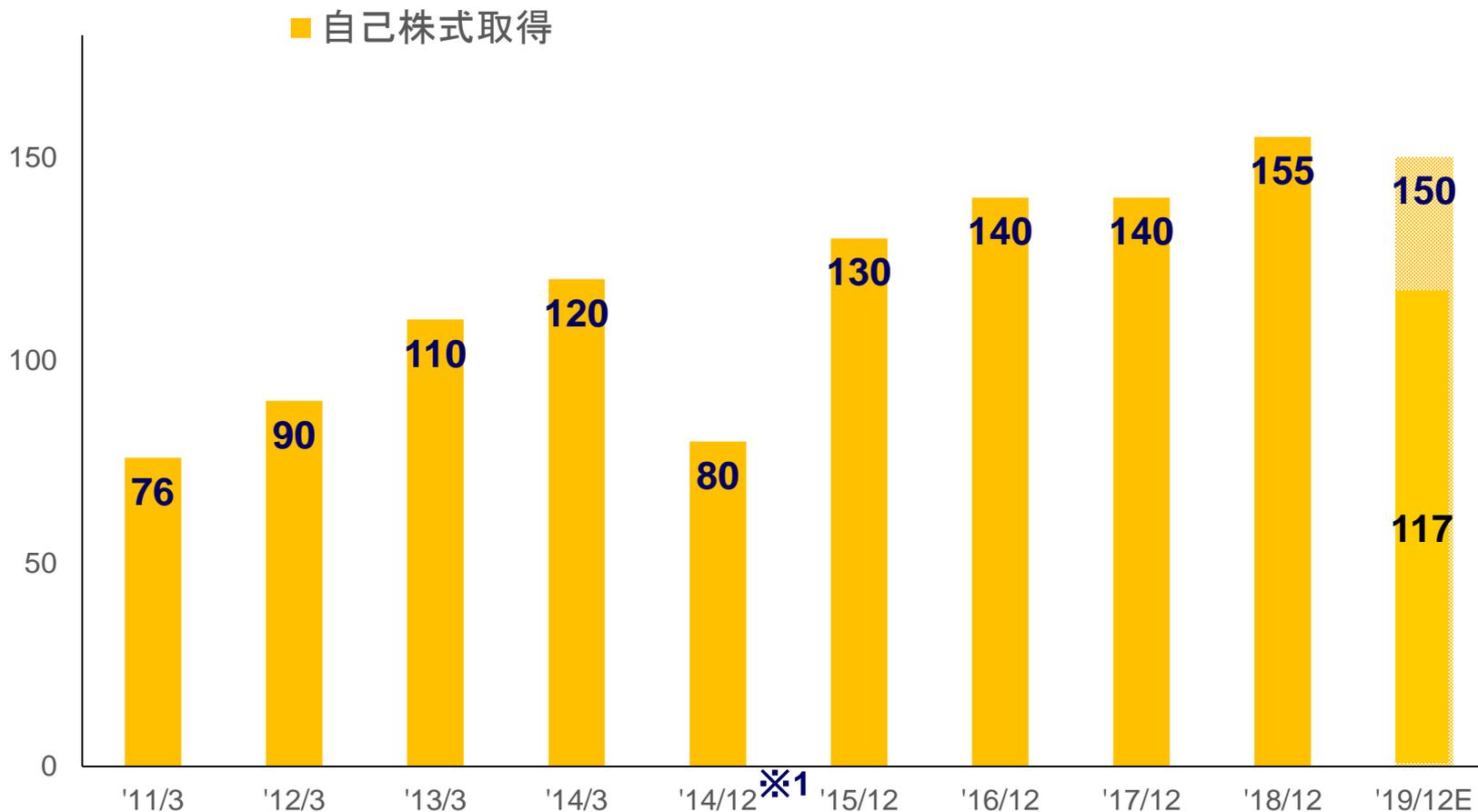


※1: 会計年度9ヶ月の変則決算。

キャッシュの状況に応じて機動的に自己株式を取得 ‘19年4月末現在 約117億円取得

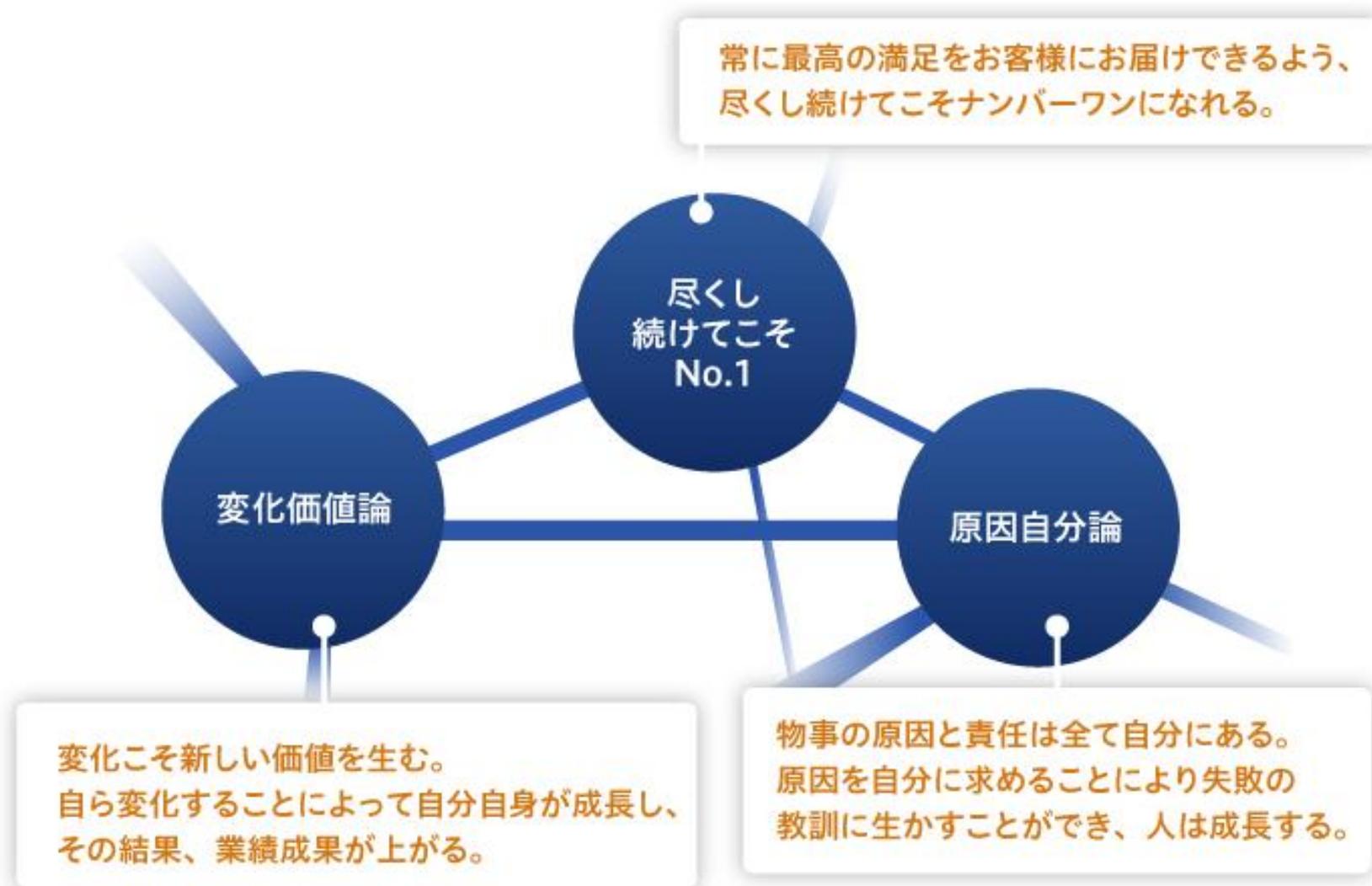
■ 自己株式取得の推移

(億円)



※1: 会計年度9ヶ月の変則決算。

企業価値向上に向けて



ライフタイムバリューの最大化による長期収益モデル

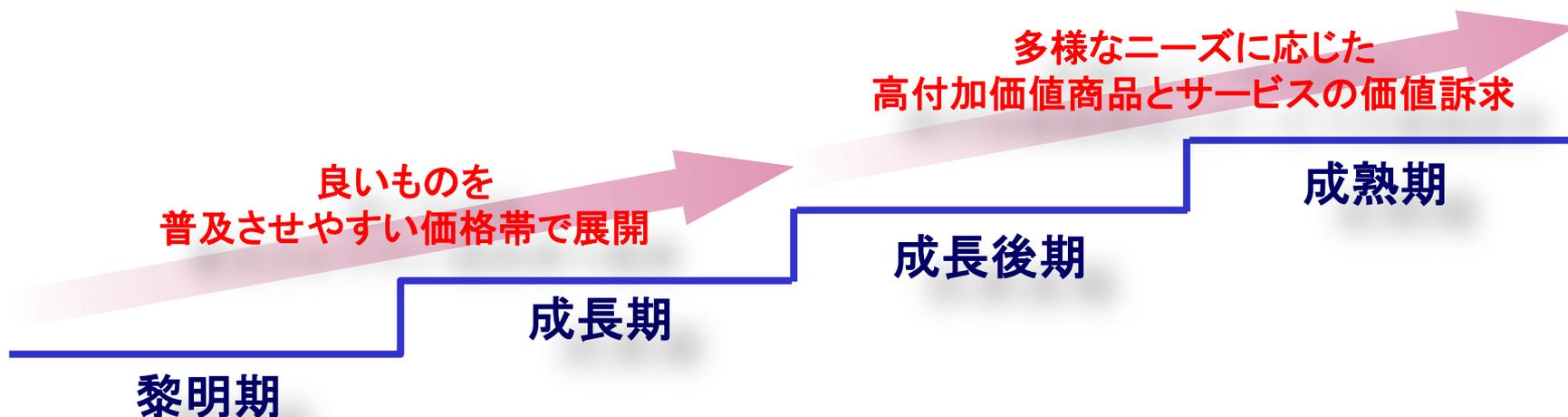
◆幅広い層をターゲットとした事業展開

	 乳幼児	 若年	 中年	 高齢者	 ペット
パーソナルケア事業					
ベビーケア	●				
フェミニンケア		●	●		
クリーン&フレッシュ	●	●	●	●	
ヘルスケア			●	●	
ペットケア事業					●

◆勝ちパターンの進化



◆各国・各事業の成長ステージに応じた戦略により市場を拡大

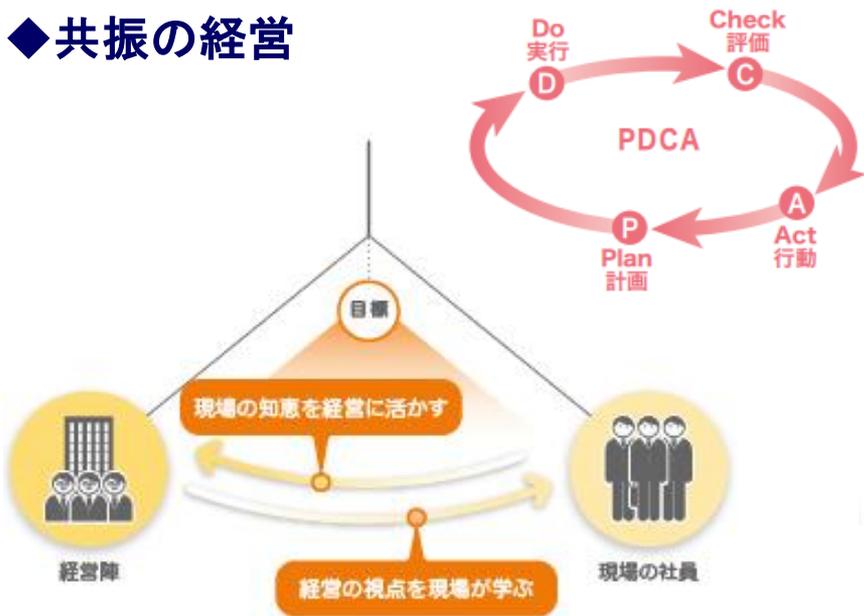


◆SAPS手法

【変化の少ない環境】

計画を基準として組織を統制。そのため、環境が安定している再には有効だが、想定外の環境変化には対処できないことも・・・

◆共振の経営



現場の社員と経営陣が情報を共有し、共通の目標に向かって進んでいく

◆OODA-Loop手法

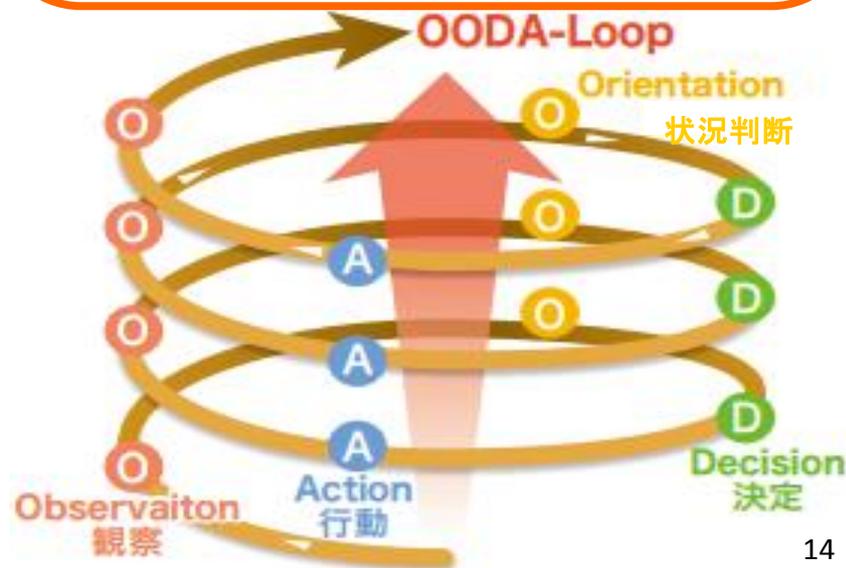
【変化が常態化した(ニューノーマル)環境】

Observation: 五感を駆使して状況を観察する。

Orientation: 得られた情報と過去の経験や知識を駆使して状況判断する。

Decision: 考えられる選択肢から成すべき意思決定をする。

Action: 速やかに実行する。(繰り返すループ)



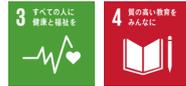
『共生社会』の実現に向けた取り組み

ユニ・チャームの目指す『共生社会』の実現に向けた取り組みを通じて、重要課題を解決し持続的な成長を実現



【ユニ・チャームの重要課題】

1. 健康寿命の延伸



2. 女性の自立支援
及び衛生改善



3. 地球環境への貢献



4. 地域社会への
貢献・人間尊重



5. 組織基盤の強化と
公正な事業慣行



重要課題に対する取り組み

E 環境負荷低減、廃棄物の削減

S 地域社会との共創共生、
サプライチェーンマネジメント

G OODA-Loop・共振の経営、
コンプライアンス、品質管理

BC 育児生活の向上を実現する

FC 女性の快適を科学し、
自由を創造する

HC 生命の喜びを追求する

C&F 人・物・場の快適環境を創造する

PC 健康と清潔でペットの暮らし快適に

ユニ・チャームの目指す世界

全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる



共生社会の実現

【企業理念】

NOLA & DOLA

Necessity of Life with Activities & Dreams of Life with Activities



健康寿命の延伸



◆『ライフリー』で健康寿命をささえる

■「ソーシャル・ウォーキング※」で健康寿命の延伸に貢献

※「社会参加&歩行」の造語で、人と関わり、楽しみながら歩くことを誰もが取り組みやすい形にした認知症予防のためのウォーキング（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所の監修のもと、当社考案。）



ソーシャル・ウォーキング
開催回数
28回
(2019年3月末現在)

■尿もれの不安をなくして外出意欲を促進し、健康寿命を延伸する商品を提供



◆国内外で「ピンクリボン活動」に継続参加

■乳がん検診の早期受診・早期発見の重要性を発信



嬌聯股份有限公司(台湾)での「ピンクリボン活動」

◆人とペットの共生社会実現に向けた取り組み

■笑顔と意欲を引き出す「アニマルセラピー」を通じて人と動物の「快」を追求



◆ペットとの共生社会実現に向けた商品開発

■介護が必要な状態となった高齢のペットの生活を少しでも楽に快適にし、最期の時まで幸せできるように





女性の自立支援および衛生改善



◆「生理だから学校に行けない」をなくす

- インド、インドネシア、ミャンマーでの初潮教育プログラムの展開
- 開発途上国関係者向け「学校保健」研修で初潮教育活動を講義



インドでの初潮教育活動



開発途上国関係者向け「学校保健」研修



ミャンマーで開発した初潮教育用教材

◆低出生体重児への支援

- 低出生体重(2500g未満)で生まれた赤ちゃんとそのご家族、赤ちゃんの発育を支える医療従事者を支援する「ちいさないのち応援プロジェクト」が「消費者志向活動章」を受章
- 1,000g未満の赤ちゃんのための世界最小※おむつ「ムーニー フラットタイプ」新発売

※ 2019年3月ユニ・チャーム調べ



◆サウジアラビアの女性の就労支援

- 働きやすい環境をさらに拡大
 - ✓ 女性専用工場で託児所や子どもとも過ごせる休憩スペースを充実
 - ✓ 女性社員をリーダーに置き、工場運営をレベルアップ
 - ✓ 女性店頭販売員による店頭推奨活動を開始





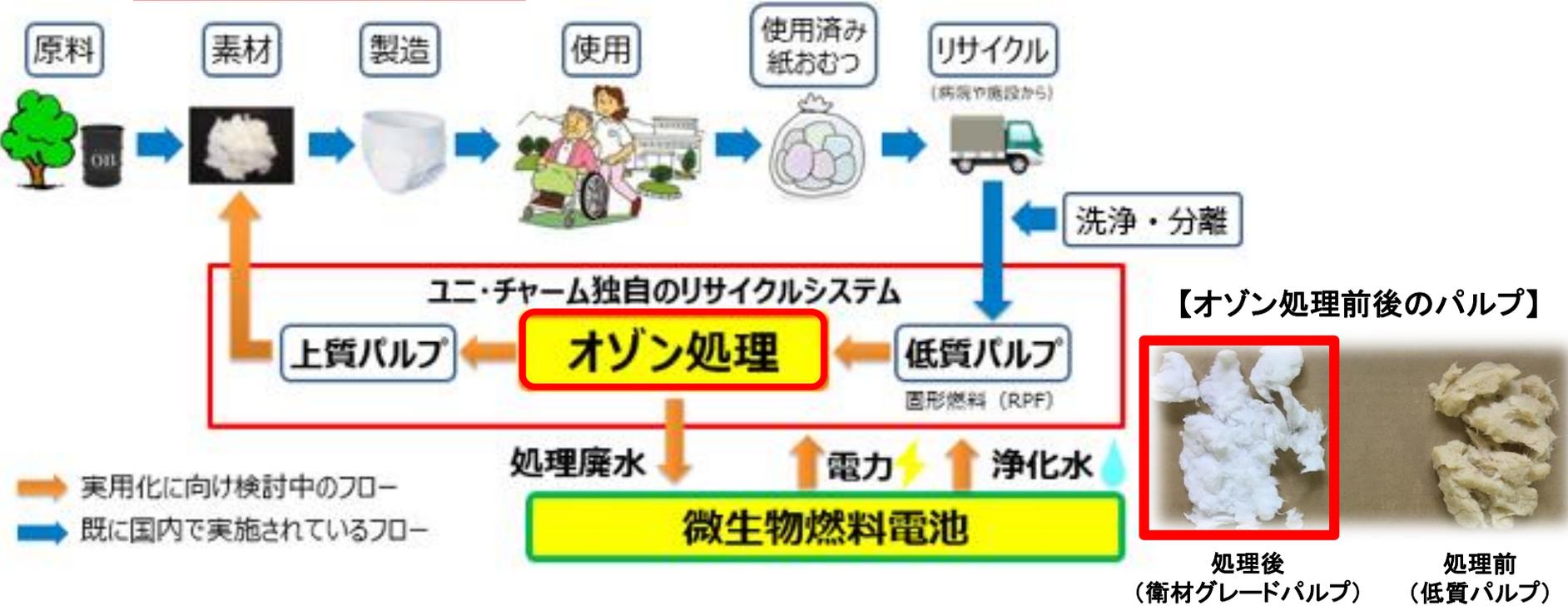
地球環境への貢献



◆ユニ・チャームの目指す紙おむつの循環型モデルの例

■ 処理効率を高めることで、焼却と同等の処理費用に抑えながら、未使用素材と同等のパルプへと再資源化するシステムを実現

- ✓ 回収した使用済み紙おむつを洗浄・分離し、取り出したパルプに独自のオゾン処理をすることで、排泄物に含まれる菌を死滅させ、**バージンパルプと同等に衛生的で安全なパルプとして再資源化。**
- ✓ 洗浄、分離時に使用する処理水を再利用し、処理の効率化と排水量の低減化を実現。
- ✓ 広島大学との共同研究で、再生濃縮排水を浄化して発電する技術を開発し、2017年には、**微生物燃料電池処理の基本特許を取得。**





地域社会への貢献



◆被災地支援の取り組み

- 被災地支援と節電活動を組み合わせたマッチングファンド※の継続
 - ✓ 「Super Coolbiz 2018」の売上は4,014千円で、震災遺児の進学を叶える「みちのく未来基金」への寄付や「平成30年7月豪雨」の被災地への義援金に活用
- インド洪水被災地への物資支援
- 「平成30年7月豪雨」被災地への物資支援



インド洪水被災者への寄付

※「被災地支援」と「節電推進」を目的に、社員が着用するオリジナルポロシャツやジャンパー、グッズなどを社内で販売。社員の購入した代金相当額と同額を寄付する制度。



公益財団法人 震災遺児に進学を！
みちのく未来基金

◆地域活性化支援

- 静岡県掛川市、鹿児島県志布志市と災害対策や子育て支援、健康増進など7分野における『包括連携協定』を締結
- 福岡県、香川県、福島県福島市、熊本県熊本市などと『災害時における物資の供給協力に関する協定』を締結
- インドネシア児童養護施設への継続支援と交流
- 家族みんなで災害へ備える衛生情報「マイスタイル防災」
- 「ITFユニ・チャームトロフィー愛媛国際オープン」に協賛



ユニ・チャームインドネシア児童養護施設訪問時の様子



<http://www.unicharm.co.jp/csr-eco/mystylebosai/index.html>

大会関係者の方々と
当社・高原社長



組織基盤の強化と公正な事業慣行

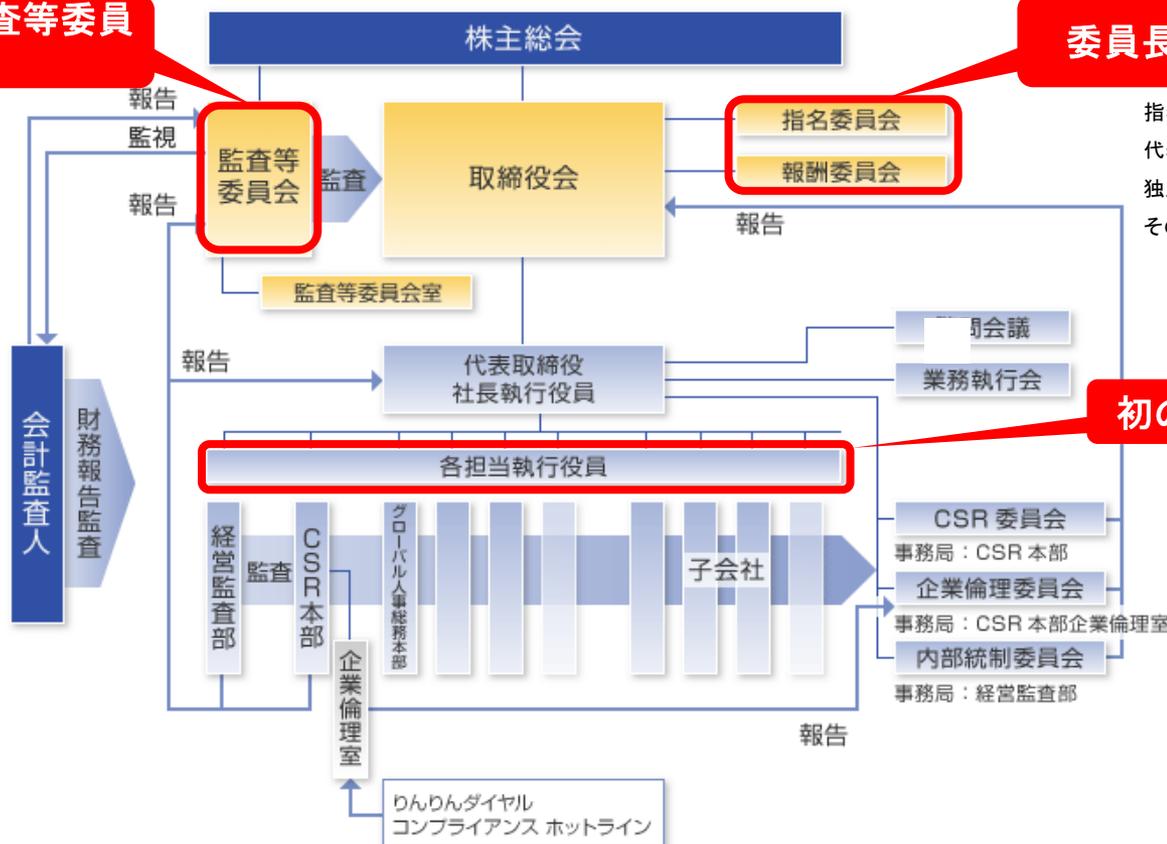


◆ 透明性・客観性・公平性強化に向けたガバナンス体制の整備

- 2016年より「働き方改革推進室」を新設し、生産性向上と女性活躍をテーマに、働き方改革を推進
- 指名委員会及び報酬委員会の委員長を、代表取締役社長執行役員から独立社外取締役に變更
- 取締役6名のうち、女性1名を含む2名(3分の1)を独立社外取締役とし、取締役会の意思決定・監督機能の更なる向上と業務執行機能を強化

初の女性取締役監査等委員
(社外)

委員長: 独立社外取締役



指名委員会・報酬委員会の構成:
代表取締役社長執行役員 1名
独立社外取締役 2名
その他の非業務執行取締役 1名

初の女性執行役員

企業理念『Nola&Dola(生活者の“夢”をかなえる)』ための デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組み

◆「共生社会研究所」の設置

■ 生体情報を得ることで「本質価値」を発見

<p>唾液を採取</p>  <p>アミラーゼ量を測定</p>	<p>前頭前野</p>  <p>NIRS装置</p>	<p>足首に装着し体動計測</p>  <p>体動量計測器</p>
<p>Physiology (生理学系)</p> <p>心拍変動 ストレスホルモン</p>	<p>Neuro Science (脳科学)</p> <p>脳波 脳血流</p>	<p>Behavior (行動系)</p> <p>動作解析 表情解析</p>

◆生活者の悩みの種を拾い、解決する情報の提供

- 中国にて展開する育児動画メディア「Babily」(ベイビリー、中国名”贝贝粒”)
- 子どもが進んでトイレに行きたくなる「ムーニーちゃんとトイレトレーニング」アプリ
- ソフィ母娘で簡単！はじめての生理日管理



◆人工知能を活用した「大人用おむつNavi」

- 大人用紙おむつ業界初！人工知能を活用して最適なおむつ選びをアドバイス

AIチャットボットが回答

はじめての大人用おむつの選び方

AIチャットボットのマキさんがズバリお答え！



AIチャットボットのマキさんがズバリお答え！

大人用おむつ NAVI

◆人と知恵と設備の融合を目指したスマート工場

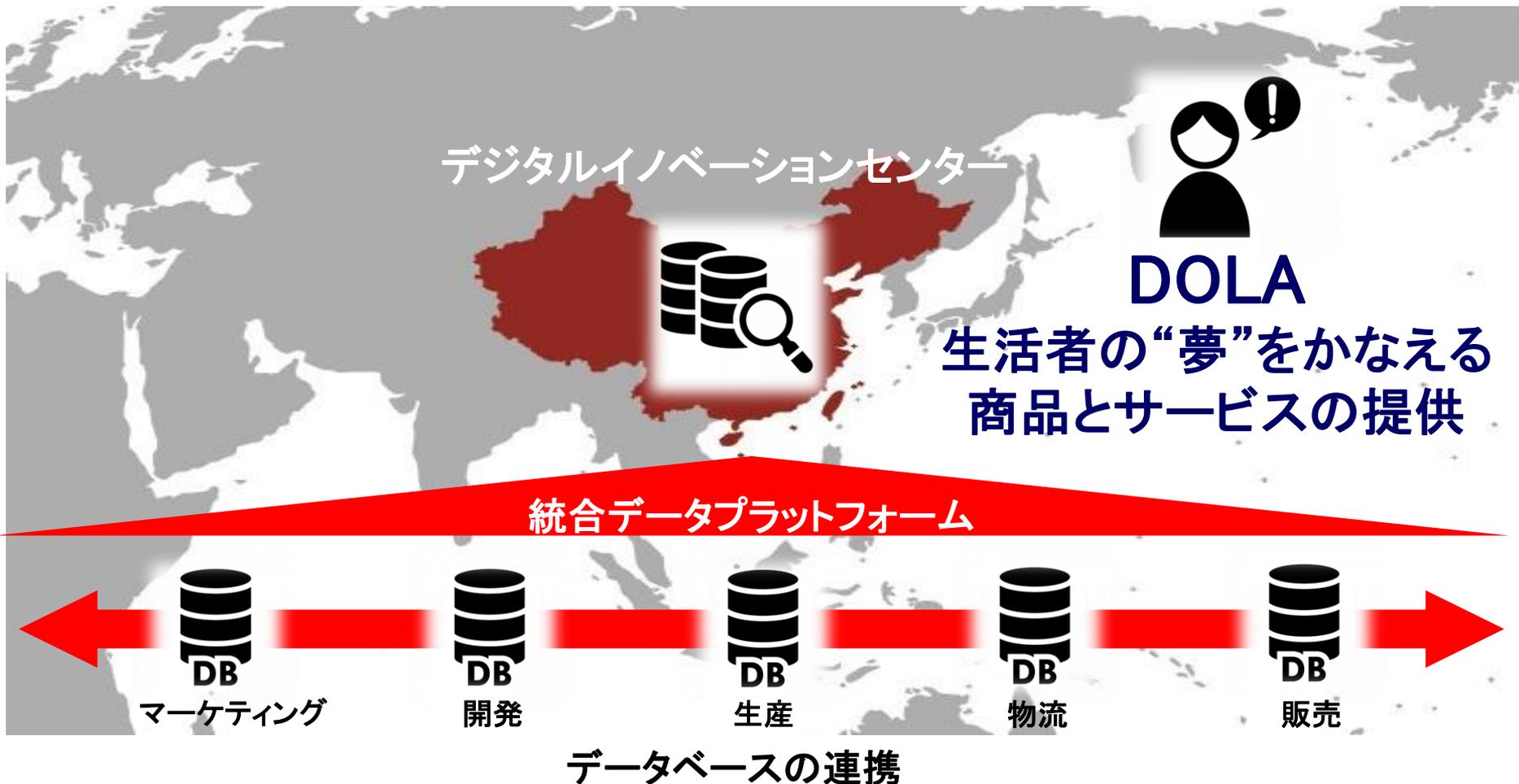
- 最先端のAI技術を導入し、安全性と生産性を高めながら労働負荷も削減するよう自動化。環境にやさしく、地域社会との共生も重視。



生活者が意識していないような価値を見極めるため、 デジタルデータベースの活用と組織変革を推進

◆生活者の“夢”をかなえる商品とサービスの提供に向けて

- 生活者の価値の変化や購買行動を捉えるため、中国にてデジタルイノベーションセンター創設を推進



外部機関からの評価と連携

地球環境への取り組み

■ Science Base Target



- ✓ 世界の平均気温の上昇を「2度未満」に抑えるため、企業に対して科学的な知見と整合した削減目標を設定するよう求めるイニシアチブ
- ✓ 2018年6月、日本で17番目の目標設定企業として認証

■ CDPジャパン500



- ✓ CDPの気候変動に対する取り組みに賛同し、FTSEジャパンインデックスに該当する企業を基本に選定した500社対象の調査に協力。
- ✓ 森林資源管理のPDCAサイクルが高いレベルで機能し、A-評価（A-以上は日本で4社）を獲得

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

■ JCI (日本気候変動イニシアティブ)



- ✓ 「パリ協定」の実現を目的に気候変動対策に積極的に取り組む105の企業、自治体などが参加（2018年7月時点）
- ✓ 初期memberとして、先進グループのベストプラクティスを展開

生産性の向上

■ 攻めのIT経営銘柄



- ✓ 戦略的なIT活用に取り組む企業として選定

■ FSC (Forest stewardship council)



- ✓ 適切な森林管理を認証する制度
- ✓ 森林認証で一番厳しい認証の基準をクリアするパルプを優先して使用
- ✓ 2017年10月、SDG'sを推進するため、バンクーバー宣言に賛同

働き方改革の推進

■ ホワイト500



- ✓ 優良な健康経営を実践している法人を、経済産業省と日本健康会議が顕彰する制度
- ✓ 働き方改革の取り組みが評価され、2019年度も継続認定

■ RSPO



- ✓ 環境・社会に配慮したパーム油の生産を推進する国際的な非営利組織
- ✓ 責任あるパーム油の調達を目指し、2018年より認証パーム油（マスバランス）の使用を開始

■ プラチナくるみん



- ✓ 優良な子育てサポート企業として「プラチナくるみん」を取得



ユニ・チャームは
全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる“共生社会”の
実現に寄与するために、
快適と感動と喜びを与えるような
世界初、世界No.1の商品と
サービスを提供しつづけます。